時事新報定價
時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價郵送料廣告料は左の如し
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金二圓○一箇年前金六圓○月曜日休刊
○時事新報社ヨリ直接ニ郵送スルモノハ郵定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ郵送料ヲ申受ク
時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社あるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を掲ぐるみと寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社には其報道は達する事と信せらるゝ方多きが如し爲めに今日まで行違ひを生したる場合も寡からざれば本社に記事論說を寄稿せんとせらるゝ方は直接に本社に向け發送せられたし

時事新報

政治社會に長老先輩なし

政治社會の近狀を見るに政府の內部には常に更迭の頻々あるにも拘はらず其局面に變化の少なきは何ぞや蓋し年來の緣故情實は一朝にして容易に跡を絕つ可らず表面には長老退て新進代ると云ふと雖も其退くや眞に退くに非ずして代るものも亦實際に顧慮の念あき能はず其間の意味は一種微妙の邊に往來して雙方共に自由の働を得ざるものゝ如し即ち世上に揣摩臆測の小說を流行せしめ益々眞相を誤る所以にして其不利の歸する所は結局事の當局者に外あらざれば今の長老先輩の人々にして愈よ政海の外に退くの覺悟ならんには全く政治の關係を絕ちて去就を明にす可し然らざれば自から進んで表面の局に當り靑天白日の技倆を演す可しとの趣旨は每度我輩の勸告したる所なれども扨事の實際を見るに今日の處にては容易に其言の行はるる可き樣子もなきみそ堪へ難けれ左れば長老輩に對するの勸告は暫く是迄とおし更に新進者に向て聊か所望を述べんに抑も今の內閣の人々は世間に之を第二流と稱し其人々も亦第二流を以て自から居り所謂第一流の長老先輩に對しては多少遠慮する所あるが如くなれども其第二流とは抑も如何の意味なるや今の新進者と長老輩とを比較して政治の技倆才覺に優劣なきは勿論、或は地位名望とても國務大臣として世間の之を認むるに十分あるは事實の證明する所あり故に第一第二の區別は唯政治上に於ける生活の長短如何に外あらざれども若しも出身在職の長短遲速を以て遠慮會釋を爲すときは政治家の技倆は到底望む可らず彼の社會交際の事に至れば喞喞は齡を以てするの古例もなきに非ざれども一國大政の局に當るものに此邊の遠慮は全く無用の沙汰にして其第二流三流に論ずる既に政局に當る上は即國務大臣として其責に任ずるみとなれば責任の在る所は自から之に任じて他に讓るみとおく長老先輩に對して聊かも遠慮に及ばず又實際に造次あきは今日の事情より觀察しても疑を容れざる所なり抑も政を爲すに人望の欠く可らざるは勿論にして注意は此一點に外あらざれども今の當局者の注意す可き所は內の人望と外の人望と二樣の別ありて內の人望とは政府部內の折合にして長老に對する遠慮の如きは即ち是れに外あらず外の人望とは一般の人民に對するものにして政府の最も務む可き所あり今當局者の身として二樣の中何れを注意す可きやと云ふに內外雙方共に其歸する所を一にして人望圓滿あれば此上もなかる可しと雖も政治家の政略は猶ほ裁判官の判決の如し法律の神聖公明あるは萬人の信ずる所あれども今の社會の人情として訴訟に勝ちたるものゝ得意あるは其代りに負けたるものは判官其人に對して惡感あきを得ず判決の當不當に非ず人情の弱點として免れざる所なり當局者の政略一時に內外の人望を收むるみとを得ば甚だ妙なれども斯くの如きは今の人情界に到底能くす可らざる所にして若しも之を企つるものもあらば愚の最も甚しきものと云はざるを得ず左れば今日の場合に於ては內の人望を博するか、外の人望を得るかの二つに一つあれども我輩の所見を以てすれば今や我國の政治も立憲代議の風に一變し假令へ政黨內閣の實を見るに至らざるも輿論の向背に由りて政略の輕重を成すは實際に免れざる所あるが故に若しも今日の局に當りて大に爲す所あらんとするには何は兎もあれ先づ多數の人望を博して其地位を固ふするの工風專一なる可し而して多數の人望を博するに內外何れを先にす可きやは今更問を要せざる所にして陳腐なる內の情實に拘泥して社會多數の人望を損するが如きは決して政略の得たるものと云ふ可らず然り而して我輩の所謂多數の人望とは世間の俗論に媚びて多數の鼻息を窺ふ可しとの意味に非ず唯政府の當局者が從來の如く情實緣故の爲め先輩故老に遠慮して事に果斷ならざるの弊を一掃し政略の方針は唯憲法々律の精神に戻らざして國利民福を保護增進するを無二の目的と爲し內を憚らず外を恐れず活潑に運動して以て國中多數の希望を滿足せしむるに在るのみ我輩は今の當局者の爲めに謀り以上の所說を以て政略の得たるものと爲すものなれども政海事情の變化は豫め測る可らざる時とし

ては隨分陰險あるものなれば或は之が爲めに圖らざる困難を釀して遂には却て內外の反對を招き當局者か以て國民の福利と信ずる所のものも他の容るゝ所と爲らざるに至ることもなしと知る可らずと雖も進退出處は政治家の常にして意に介するに足らず若しも斯る事情の變化に際しなば快よく其他位を退て之を後者に讓るの覺悟ある可きのみ我輩は今の當局者に此種の勇氣あるを信じて敢て此說を呈するものなり

雜報

○軍艦の新造　海軍省にて已に內外の造船所をして製造せしめ追々竣工せんとする新軍艦は嚴嶋、松嶋、千嶋、大嶋、秋津洲の五艦と佛獨に注文せし水雷艦三艘幷に小野濱造船所にて製造中の同艇十八艘あるが現在の軍艦にて此一兩年中には最早廢艦とおるべきもの二三艘もある事と云ひ旁々今より豫め新造の計畫無かるべからざるとて兼て數艘の軍艦を製圖し其設計も粗ぼ定まり居る趣なれども何分經費の都合もある事ゆゑ目下製造中の軍艦次第に竣工するに隨ひ新艦の製造を注文する見込の由にて來る二十五年度には先づ二艘の軍艦を製造するに至るべしと云へり

○日本の條約改正に就て　英國の新聞紙マンチエスターガーヂヤンの述ぶる所を見るに日本の最良策を申せば尙ほ四五年間條約改正問題を瀆ずる事を止め其間現今の仕組を廢せざるにあり之と同時に世人は新法典幷に日本法廷の作用に注目し若し滿足ある結果を奏する時は都合好く改正の實を擧ぐるの機會あるべし然し性急ある日本人が斯の如き延期を歎するや甚だ疑はしと云へり

○雨龍大農場　石狩國雨龍郡の大農場は世人も已に知れるが如く三條公が存命中蜂須賀菊亭兩侯と共に歐米各國に行はるゝ大農場の模範を造り出さんとの目的にて一昨年の末同郡の原野地一億四千六百八十九萬一千有餘坪の貸下を受け菊亭侯總代と爲り專ら之を擔任し三條公の薨去後も尙ほ引續きて右の計畫に從事し居る事あるが此大農場の計畫も今尙ほ其初步に在るは勿論の事なれども設計は隨分廣大なる規模にて雨龍郡內の原野は兢れも擧げて農場に關し資本は先づ五十萬圓との豫定にて年々五萬圓づゝを投ずる事とし農學士町村金彌氏が聘せられて主任と爲り夫々設計に基きて區劃を施したる上勅植掛事務掛等の事務員をも設け農手九名定農夫十一名の外に人夫凡そ三十名程をも雇入れて次第に開墾に着手し北海道廳よりは特に柳本技師を以て之を監督せしめ居る趣にて現在の墾成地は百八十町步あり其他に牧場地とせるもの百六十町步ありて已に昨年より牧畜をも始め牛馬豚百五十五頭あるよし斯く次第に計畫を進め居る趣なれど最初より單に大農場の方法にのみ依らんとするよりは小作人にも貸渡して益々開墾の業を拂取らせる方彼我雙方の爲めに便益あるべしとて本年よりは取敢ず試驗の爲めに若干の小作人を置き來年を待ちて大に擴張せんと蜂須賀、菊亭兩侯等は右の方法に就て目下種々計畫し居れりと云ふ

○南米智利革命黨の特派使節、米國に入る　先殿來屢々記載する如く南米智利國に於ける革命黨即ち國會派と現政府黨との戰爭は既に數月の久しきに亘り未だ局を結ばざれ共近來革命黨の勢力は益々强盛にして本部をイクイーク港に構へ一の政府を組織したりしが客月二十四日米國紐育港へ着したる汽船ヂチー オヴ パラの乘客中に智利革命黨の名士三名を見受けたり是等の名士は自黨の利益を計る爲に特別の使命を帶びて來りしものにして其一人あるモント氏は革命黨の代表者として米國々務省と大切なる事柄を商議するの重任を帶び他の二名は氏の秘書官ヴアラス氏と隨行員カプテン クルズの兩氏なり同一行は上陸するや否や旅亭に赴きたれども夜に入るまで何人にも面會を許さず遂に夜の十時頃に至りモント氏は智利の事情に關する質問に答へて云へらく余は大切なる使命を帶びて當國に來り單に我黨の利益を計らんが爲め盡力するのみ素より余は當國にて如何に待遇せらるゝやを知らざるが故に何事も委しく話す能はず我國會派はイクイークに本部を構へて充分に一政府を組織したり吾々は大統領を戴かざれども人民の望を得たりと又モント氏は智利駐在米國公使よりの信書を携帶し先づ國務省のフォスター氏に面會する爲め一兩日の內華盛頓府へ赴く筈なりと

六月二十四日紐育發の報に見ゆ

○パーチル氏いよ〳〵情婦と結婚す　愛蘭自治黨の領袖パーチル氏と姦通したる廉を以て離緣されたるオーシヤ夫人は兼てよりパ氏と結婚するあらんとの噂ありしが去る六月二十四日倫敦發の報にパーチル氏とオーシヤ夫人とは既に結婚したりとか將に結婚せんとすとか種々の噂あるを以て倫敦府に在るに忙はしく本日諸新聞紙にて下院に赴きたれども氏は下院に赴きたれども氏を隱し何所に赴きたるやオーシヤ夫人の住居すられずと推察して倫敦にある通信者は同市に愛人を隱匿せしめ居るとの噂ありしが其實は也に見えず遂に愛人ル氏の書記に電報にて問はしに少しも知らずと返電ありし亦所在を告げざれば其の特許を得たるは酉實に廿五日秘密に結婚式を擧げしが本日の電報欄內にはパ夫人に婚したり

○日本に英語の行はる　日本に來遊せし倫敦タイン アーノルド氏の一非難するものあれども メッセンヂヤー新聞するは判然として據る氏よりも尙ほ明かなる氏は氏に當りては學者の風俗習慣の一事に至り證言を信ぜざるべからず所に據れば日本市街を掲げたるを見るに日するが通常あり是れ實奇と云ふべし斯る風習次第に盛ならんとする課文の中には奇異にしらざれども左ればとて海員への賣込みを專業を掲ぐるもの少から港の邊に於てさへ多於ては當に多しと云ふ云ひ且つ些細の事あれ英兩國の文字を以て其實あるを以て考ふればるべからず日本には今らず旅行するものも亦効能あるにあらず只だ勢は小兒等へ英語を教結果は可笑しきものと行久しく續けば教授の

○豐前門司港の現況　に門司の住民は專ら農に漁業をおし內外船の廿二年中同港を特別輸目する所と為り同年七は其據定工事も殆ど破本社を茲に移し本月一より開通したれば同港の一の良港とはおれり目宏壯ある建築をおし其店飲食店等在來の民屋たゆ入港する外國船は月中の如きは都合十六

時事新報

新聞紙の効力

時事新報は本日より紙面を改めて記事を擴張するみとに爲したれば今後紙中論説の得失、報道の精粗は一に讀者の高評を仰ぐのみ抑も新聞紙の發行は我國にて二十餘年來の新事業にして其人事に益して文明の進歩を助るの効力は敢て爭ふ者なきに似たれども人間社會の廣大なる今日尚ほ未だ新聞紙を知らざる者あり假令へ或は之を知りて之を讀むも其効力を認めずして輕々みれを看過する者あり尚ほ甚だしきは新聞紙を無用の長物として世に其物あるを知りながら故さらに之を擯けて目に觸れざる者あり新聞事業の前途尚ほ遙なりと云ふ可し蓋し之を熟讀して是非得失を評するものは其論當らざるも自から新聞紙の友にして相互に益する所ありと雖も漠然みれを度外視するものに至りては之に近づくに由なし佛家に云ふ縁なき衆生は度し難しとは是等の意味なる可し左れば我輩は此無縁無頓着の輩に向て新聞の功能を説き理論上に喋々するも無益の沙汰なりと思へば極めて手近き實例を擧げて事の一班を示さんに彼の無頓着流の人も世に金錢の貴重なる所以は能く了解するみとならん既に金の貴きを知らば試に新聞紙上の廣告を見る可し廣告欄内の文面は字々皆錢にして依頼者が一行十何錢の代價を拂ふて自家の利益に關する事を世に公けにするものなり射利一偏の目的なる商賈工業の人々が其貴き金を投して新聞紙面を買ふは何ぞや其投する所の金と廣告に由りて自家商工の業に得る所の利益と相償ふて餘りあればなり即ち新聞紙に廣告すれば世間公衆の注意を促かして先づ第一番に商工の家の名を知られ其事業の性質を知られ其商工品の品柄と其價の割合を知られ隨て得意の客を得て營業の繁昌を致せばなり之を名けて新聞廣告の効力と云ふ既に其廣告に効力ありとすれば新紙全面の文字も亦同様にして一行何錢と定めて代價を拂ふ者みそなけれども其字々皆有力にして世間一般の注意を促がすは廣告の文に異なるみとある可らず浮世に縁なき仙人ならばイザ知らず苟も活世界に居て活人と共に活動する者ならんには其身の官民を問はず其家の貧富に論なく一日も新聞を見ずして居家處世の宜しきを得べきや我輩の儕より掛念する所なり新聞を見ずして物價の昂低を知らざる者もあらん眼前の利益を空ふして夢中に損亡を招く者もあらん、事實の報道足らずして世人に誤らるゝみともあらん、又或は紙上に自分の姓名を記されて主人自から知らざるが如き不都合もあらん、都て是れ新聞紙を嫌ひ新聞紙を度外視するより起るみとにして其効力を知らざるの罪なれば彼の廣告の依頼者が貴重なる錢を投じても新聞紙面を利用するの理由を考へ其論説記事の侮る可らざるを發明して無頓着の頑夢を拂はんみと我輩の敢て忠告する所なり

雜報

○新造軍艦の千嶋、嚴嶋、松嶋　は孰れも佛國へ注文したるものにて千嶋はサン　ナセール　ロアール造船會社、嚴嶋松嶋は地中海製鐵會社に於て製造せしめしが千嶋松嶋の兩艦は最早竣工を告げ回航事務員の海軍將校士官は已に該地に出張して内部の整頓を待ち居れば來る八九月の交には前後して或國へ向け該地を出發すべく又松嶋は前の二艦に比しては稍や後るれども是とても其竣工遠からざれば本年末には回航の運びに至るべしと云ふ

○府縣會議員の配當計算法　去る六月九日勅令第五十九號を以て「府縣會議員定數規則」を發布したるが其後内務省縣治局長大森鍾一氏より同規則に掲載する府縣會議員の定數を毎郡市に配當す可き計算方法の心得として各府縣へ左の如く通牒に及びたるよし

一、府縣會議員の定數を以て毎郡市に配當するは先づ其管内の總人口に割當て議員一人に付人口平均何人なるやを算出する事

二、前項の計算に依り得たる人口を以て之を毎郡市人口の多寡に應じ議員の配當數を定むる事

三、前項の計算に依り生する毎郡市人口の端數は四捨五入の方法に依る事

四、前項四捨五入の方法に依り例へば議員の總數三十人なるも毎郡市配當の人員を合して總計廿八人となり二人の配當を剩すみとあるときは或郡市に就き其切捨たる人口の數多き部分に於て順次之を配當して三十人に充たし(此主旨を細別すれば例へば甲郡は一人四分九厘乙郡は一人四分八厘にして共に其端數を切捨たりしも本項の如く總體に二人を剩すみとあるときは其切捨たる端數の多き甲の四分九厘に對し一人を配當し其二位たる乙の四分八厘に對し一人を配當して共に二人と爲すの類を云ふ)又之に反して議員の數三十人なるも切上の爲め三十二人となるみとあるときは二人以上の配當を受る郡市に就き其最も切上の寡き部分に於て順次之を減して三十人と爲す事(此場合も前段割註に比準するみと勿論とす)

○司法省總務局長　司法省は今度別項にも記す如く總務の一局と爲したるに付或は三好次官が其局長を兼務するならんと云ふもありしが新官制には次官が局長を兼ぬる明文なければ去る變則も行はれざるべく河津刑事局長も已に檢事に轉任したれば總務局長には菊池民事局長が任命せらるゝならんと云ふ

○加奈陀の新首相　加奈陀の前總理大臣マクドナルド氏の後任は確定せざりし處舊内閣員の一なるアボット氏が總理大臣の任に當りて新内閣を組織する事となり舊内閣員は前國務大臣チヤプロー氏を除くの外何れもアボット氏の爲に協力する事を諾したりとの噂ありしが六月十六日オッタワ發の報に據ればチヤプロー氏は議會閉會後鐵道大臣として入閣する筈なりと云ふ

○丁汝昌氏の横須賀行　同提督は昨十五日午前七時三十分六艦長及び隨行員都合十九名と共に西波止場より上陸し居留地二十番グランドホテルにて暫時休憩の上午前九時横濱發の汽車にて横須賀に赴き造船所機關學校等を巡覽の上同地發の終列車にて歸港せしと云ふ

○渡邊北海道廳長官　去る四日赴任の途に就きたる同長官は七日函館に着し暫時同地に滯在して札幌より藤田理事官を呼寄せ相共に種々取調べを爲したる末一昨十四日札幌に着任したるよし

○横濱萬竹亭の演説會　一昨十四日午後八時三十分より横濱萬竹亭に於て開きたる演説會は當日の辯士曾田愛三郎高橋庄之助の兩氏欠席し他二三の辯士のみなりしが聽衆は僅に三十四人にて十時三十分散會したる由

廣告

●乳糖ペプシ子　其他の胃病藥に卓越る理由は大凡左の如し從來胃病藥として用ひ來りしものは昔は牡蠣辛螺の類今は炭酸曹達マグチシヤならざるは殆んと稀れなり然るに元來此等の藥は一時制酸の効能は有れども若し其制酸に心醉して妄に之を用ふるときは知らず識らず之が爲め胃腑を傷し消化素(即ちペプシ子のみと)を損ひて遂に所謂人工胃腑とて自ら求めて避らへたる胃病を惹起しとりもなをさず胃病を治さんとて却て胃病を増し生涯其病苦を免かるゝを能ざるに至るべし○又近頃パパインなるものあるも之れ亦彼の恐る可き腸嫉衝を起すの愁ひありとの説あれは容易に信ず可からず之に引かへ……此の乳糖ペプシ子は從來ありふれたる一時おさへの藥と違ひ理化學的作用を以て精製せし人工胃液ともいふべき特効劑なれば論より證據或は之を實地に經驗し或は其効能を醫師に尋ねなりし給ふに於ては明かに其効驗の他劑と天淵月鼈の相違あるを知り賜ふべし●今茲に本劑の成立を陳れば彼の營養物即ち蛋白質を消化する作用ある純精のペプシ子を基とし之に加ふるに植物性食物即ち澱粉類を溶解し澱粉糖化の作用を有する「マルチン」及び脂肪を乳化し傍らペプシ子の能力を補給する所の「パンクレアチン」並に胃腑の實質に對して健胃強壯の偉効ある「鹽酸キニー子」其他二三の健胃藥とを配合し而して「乳酸」を以て酸性となし「乳糖」を以て調味且形の料とせし者なれば學理上及び實驗上實に完全無缺の胃病藥と云ふも敢て過言に非ざる可し故に假令幾日連用するも毫も弊害なきは名醫大家の確證する所なれば請ふ安心して服用あれ

登錄商標

胃病諸症ニ特効薬　乳糖ペプシ子
即チ日本ニテ製スル方　複方含糖ペプシ子

(定價●金十錢　金三十錢　金五十錢　金一圓)

主治　○消化不良○食思不振○惡心○胸痞○胃痙○胃痛○完穀下痢○貧血○重病後の恢復期

●此他運動の乏しき人が常に之を服用すれば消化不良の愁ひなし

大坂北濱三丁目卅五番屋敷　西山良造

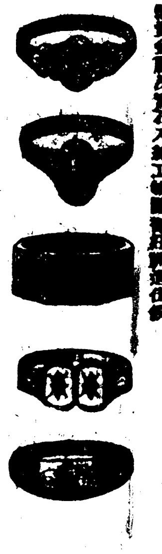
東京賣藥同盟會員

東京々橋區銀坐二丁目　岸田吟香
同　日本橋區本石町二丁目　森谷萬次郎
同　兩國村松町　岩濱長藏
同　兩國廣小路米澤町一丁目　大木口哲
同　日本橋西仲通上槇町　安川桑次郎
同　京橋區銀坐一丁目　佐々木玄兵衛
同　日本橋區瀨戸物町　玉置金八
同　下谷區池ノ端仲町　守田治兵衛
同　日本橋區馬喰町一丁目　平尾贊平
同　日本橋區元大坂町　高木與兵衛
同　京橋區銀坐三丁目　松澤八右衛門
同　日本橋區小網町四丁目　黒澤利兵衛
同　同區本町四丁目　松本伊兵衛

日本郵船會社瀛船横濱出帆日

○兵庫丸　四日市行　七月十六日午後一時
○近江丸　荻ノ濱函館行　七月十六日午後二時
○相模丸　神戸行　七月十七日正午十二時

金製指環　ダイヤモンド、サツフヤ、リユビー、エメラルド、アパル、各寶石入及見留印付(紋彫徽章附)各種此程實金製及寶石入細工物[illegible]仕候



東京市京橋區尾張町二丁目十八番地●電話三百卅三番　天賞堂

戸田忠太夫安島帶刀會澤恒藏三先生ニ特旨ヲ以テ正四位ヲ追贈セラレタルニ付來ル二十七日午後第一時ヨリ水戸公園内常磐弘道館ニ於テ祭典ヲ執行致候條御參拜相成度此段廣告候也
但祭祀料奉納ノ諸君ハ來ル二十二日迄ニ本所新小梅町一番地山中新方ヘ御差出被下度候也
明治二十四年七月
右祭典幹事

立正閣　賣家
右拙者所有の建物今回宗教改革決行の費用に充つる爲め極めて安價を以て賣却す有志の者は至急一覽の上入札すべし
入札者は保證金を要す
來る七月廿一日午後四時開札之事
日本橋區蠣殻町二丁目十四番地　田中智學

今度石油取締規則…
品ハ市店ニ藏置…
慣ヲ發シ需用家…
商ヲ各位ヘ石油…
便宜アリ諸願セシカ今回…
モノト同一ナ…
(認可品　瀛發御火…)

製造所名稱
日本坑油會社
泰平社
◇製造所
朝陽館…

右別製火止油ハ危險ノ患ナキモ反テ…
召ス方モアレバ同シ直段位ニテ…
ノ出來候筈ハ無モノナリ因テ…
樣ノ品ニ迄ヘ製造致シ並…
患ナキ樣發火度ニ注…
東京市深川…
同市同區平…
同市同區古…
同市下谷區…

有限責任東京…
第九回半季實…
負債ニ屬スル分
一株金
一積立金
一諸預リ金
一前季繰越金
一利益金
合計
資産ニ屬スル分
一拂込未濟株金
一銀行預ケ金及定期貸金
一家屋倉庫及什器
合計
該勘定ノ損益ハ左ノ如シ
入
一保管料及貸庫料
一利息及雜收入
一前季繰越金
合計
出
一諸税金及營業諸費
一借地及借庫料
一取立代金預リニ對スル利息
合計
差引　利益金
内
取締役檢査役報酬金
積立金
家屋倉庫及什器代價償却
割賦金　一株ニ付金一圓　即チ年一割
後季ヘ繰込
右之通相違無之候也
深川區小松町七番地
有限責任東…